

教育システム情報学会 産学連携 シンポジウム

— 教育システム研究最前線：いま熱い!! オントロジーと e ポートフォリオ —

■日時：平成 21 年 1 月 23 日（金） 14:00-17:30 終了後懇親会

■場所：キャンパスイノベーションセンター（東京・田町）・・・定員 50 名

<http://cic-hp.zam.go.jp/tokyo/access.php>

株式会社デジタル・ナレッジ西日本支社（大阪市西区）・・・定員 10 名

<http://www.digital-knowledge.co.jp/nishi/>

（東京の本会場とインターネットで接続してご参加いただきます）

■参加費：1000 円

■参加申込：以下の URL でお申込みください。

<http://enq-maker.com/bTvDc3v>

■主催：教育システム情報学会

■共催：熊本大学

■協賛：日本イーラーニングコンソシアム

■主旨：e ラーニングの普及に伴い、IT を活用した教育・訓練・学習が日常のものとなりつつあります。このような流れの中で、実用段階の技術の実践活用の重要性もさることながら、一歩先を行く研究開発のコンセプトや展開に目を向け、近い将来利用可能になるであろうシーズからヒントを得て、自分たちのニーズにマッチングさせる見通しを持つことも重要と考えます。

本シンポジウムは、このような観点から、教育システム情報学会の学会員が携わっている先端的な研究テーマの中から、オントロジーと e ポートフォリオを取り上げ、広く学会内外にご紹介する機会を設けるものです。

研究の問題意識、技術の内容と到達点、今後の応用と展開、などを第一線の研究者が平易にご紹介し、合わせて、技術サイド、利用サイドの参加者の方との意見交換の機会を提供したいと考えています。

■プログラム・講演概要：

≫14:00-14:10 開会のごあいさつ

≫14:10-15:10

『ID（インストラクショナルデザイン）理論のオントロジー化』

— 誰でも使える ID 理論の構造化を目指して —

◆大阪大学 産業科学研究所 林雄介 先生◆

ID（インストラクショナルデザイン）理論の e ラーニング などへの適用が注目を集めています。しかし、ID 理論は莫大な知識の集積であり、誰もが適切な手法を選択して使いこなすことは難しい、というのが実情です。一方、このような莫大な知識を構造化するための技法の一つとしてオントロジーがあります。計算機上で知識を体系的に整理することで、必要な知識の検索、適用が容易になると期待されます。ID 理論のオントロジーによる構造化を目指して研究を進められている林先生に、研究の目的、構造化の考え方、今後の展開、などをお聞きします。

≫15:10-15:20 休憩

≫15:20-16:20

『eポートフォリオへの取り組み』

◆熊本大学 教授システム学専攻 中野 裕司 先生◆

eポートフォリオとは、個人の学修成果物を電子的に蓄積、管理し、それを整理、評価、共有等することで、学習を深めるとともに将来へ役立てるものです。熊本大学大学院教授システム学専攻では、総合的なオンライン学習環境構築の一環として、eポートフォリオを設計・導入し、実際に運用しつつ、機能拡充や他のシステムとの更なる連携を目指して研究開発を行っています。

学習履歴の管理・活用については、どの企業・組織でも関心があるところかと思います。このようなシステムが企業内・組織内の学習管理・促進に活用できるかを議論しましょう。

≫16:20-17:20

『eポートフォリオを利用した人材育成システム』

◆日本女子大学 小川賀代 先生◆

日本女子大学では、女性のキャリアデザイン支援のためのシステムとして、eポートフォリオの研究・開発を進めています。本システムは、日本女子大学が長年にわたり蓄積してきた人的資源である社会で活躍している卒業生をロールモデルとして目標設定に活用し、学習目的・学習パスを明確にしたり、業種・職種別や会社別に分類することにより、その職業で活躍するために今後どのような能力を身につけるべきかの指標を提示したりする機能を有しており、在校生だけでなく、卒業生の再就職・転職時にも活用できるように公開されています。今回はシステムの紹介や試行結果を中心に、キャリアデザイン支援におけるeポートフォリオの活用についてご紹介いただきます。eポートフォリオの人材育成開発分野での活用について議論しましょう。

≫17:20-17:30 閉会のごあいさつ

≫終了後、懇親会

■お問い合わせ：

独立行政法人 メディア教育開発センター 仲林 清

E-mail: naka@nime.ac.jp